

# 令和6年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練



## 緊急消防援助隊とは

日本国内において発生した大規模災害において、全国の登録消防本部から構成される部隊が被災地へ駆けつけ、消防救助活動の応援を実施する制度です。

【主な例】東日本大震災（H23）、熊本地震（H28）、九州北部豪雨（H29）令和2年7月豪雨（R2）  
能登半島地震（R6） 下線は長崎県から派遣

## 令和6年度 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

主 催：総務省消防庁・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練実行委員会

開催日：令和6年11月16日（土）  
サテライト会場  
・大村市森園町（長崎県消防学校）  
・佐世保市烏帽子町（えぼしスポーツの里付近）  
令和6年11月17日（日）  
メイン会場  
・東彼杵郡川棚町（川棚港周辺）



## 訓練参加・協力機関

陸上自衛隊、航空自衛隊、国土交通省九州地方整備局、第七管区海上保安本部、長崎県警察本部、長崎DMAT、日本赤十字社長崎県支部、佐世保市消防団、川棚町消防団、波佐見町消防団、東彼杵町消防団、大村市消防団、九州総合通信局、佐世保市立看護専門学校、佐世保市医師会看護学校、九州文化学園高等学校衛生看護専攻科、活水女子大学看護学部、長崎県立川棚高等学校、えぼし岳高原リゾートスポーツの里、長崎キャノン株式会社、九商フェリー株式会社、有明海自動車航送船組合、島原鉄道株式会社、株式会社トーイングサービス、原産業運輸倉庫株式会社、クアーズテック合同会社長崎事業所、株式会社川棚カイトックファクトリー、日本ハムファクトリー株式会社、有限会社本田産業、株式会社ドローンプラス、株式会社センチュリー、株式会社フライトパイロット、大村湾漁業協同組合川棚支所、大村湾漁業協同組合東彼杵支所 その他

お問い合わせ先

緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練 実行委員会事務局

電話 095(895)2146 (長崎県消防保安室)

# ○訓練スケジュール

令和6年11月17日(日)

時間	訓練項目	場所
9:00 ~ 12:00	部隊運用訓練	東彼杵郡川棚町 (メイン会場)
12:30 ~ 13:00	閉会式	
14:00 ~	訓練参加部隊 退出	

## ○訓練項目

	訓練名称	訓練概要(想定)
メイン会場	津波要救助者救出訓練	津波により岸壁付近に取り残された多数の要救助者を救出するほか、座礁した船舶から複数の要救助者を救出する訓練。 その他、地震により破損した沖合の防波堤からへりにて孤立者を救出する。
	地盤面陥没救出訓練	地震により地盤面が陥没し、普通乗用車や多数の要救助者がアスファルト等の堆積物に覆われ救助を求めている。
	土砂埋没家屋救出訓練	大雨及び地震により大規模な土砂崩れが発生し、家屋1棟が巻き込まれ要救助者が取り残されているもの。
	橋梁崩落事故救出訓練	地震により橋梁が崩落し通行中の車両が複数台地面に落下。 各車両に多数の要救助者が取り残されているもの。
	多重衝突事故多数傷病者救出訓練	大雨と地震により土砂崩れが発生し高速道路上に土砂が流入。車両同士の衝突事故が発生するとともに、土砂により走行中の車両が埋もれ、多数の要救助者が車内及び高速道路上に取り残されているもの。
	横転列車多数傷病者救出訓練	大雨と地震により土砂崩れが発生し線路内に流入。走行中の列車が脱線及び横転し、列車内に多数の要救助者が取り残されているもの。
	市街地大規模火災消火訓練	地震により市街地大規模火災が発生。消火栓の断水や防火水槽の損壊により遠距離かつ大量の放水が必要な状況。連続した空中消火も要する。

## ○お願い

訓練会場内は、非常に危険です。  
見学される際は、係員の指示に従ってください。